

サッカーの大好きなみなさんへ

サッカー小僧のみなさん、こんにちは。

現在マカオの代表チームで監督をしている影山雅永（かげやままさなが）です。はじめまして。経歴は別紙でご紹介させていただきますが、自分は筑波大の出身で、ゴン（中山）選手や井原選手と同級生でもあり、同じフィールドでプレーをしていました。茨城県は大学の貴重な時間を過ごした思い出の地です。

自分は石岡青年会議所副理事長の菅野君と高校時代の同級生であり、同じクラスで親しくしていた縁もあって、今回はメッセージを寄せました。

本日はカシマスタジアム進出をかけたの大会ということだそうですね。自分たちが小学生の頃は、あんなに立派なサッカー場でプレーした記憶も無く、本当にうらやましい限りです。

勝負なので、当然勝ったチーム、そして残念ながら勝てなかったチームと両方ありますね。

勝ってカシマスタジアムに進むことができたチームのみなさんはおめでとうございます。またカシマスタジアムに届かなかったチームのみなさんも、心ひとつに頑張ったことだと思います。本当にお疲れさまでした。

勝負は時の運です。勝ったチームのみなさんは、現時点の試合に結果が出たということであり、ひとつ間違えれば逆の立場にあったということも忘れないで下さい。そして結果の出なかったチームのみなさんは、現時点で何が足りなかったのだと思いますので、その弱いと思われるところを、一生懸命に努力して上達につなげて下さい。

現在サッカー界では、日本に限らず世界でも、サッカー自体を楽しむことが大事だと説いています。

楽しむためには自由な発想や個人による表現も大事、また、集団の中の個として、そして個の集まりとしてのチームと言う考えが大事になります。そうしないと楽しむことが出来ないし、勝利もついてきません。

「One For All、All For One」という言葉があります。一人はみんなのために、みんなは一人のためにということですが、サッカーもまさにそうです。みんなの気持ちをボールでつないでいき、それぞれが大事な役割を持って進めるサッカーの魅力を存分に味わい、みなさんには、好きなサッカーをとことん楽しんで欲しいと願っています。

それと、試合に勝つために100%努力するのは当然のこと。しかしその後はチームメイトを、対戦チームの選手を、レフェリーを、サッカーを尊重することが大切です。

様々な人のお陰で、自分がそこでプレーできるという感謝の気持ちを忘れないで欲しいと思います。監督やコーチも、時間をみなさんのために使ってくれています。みなさんを愛してくれている監督やコーチへも感謝して下さい。

また家族の支えがあればこそサッカーができるのです。だからご両親をはじめとする家族に対しての感謝も忘れないで欲しいと思います。

サッカーを通じて学ぶことはたくさんありますが、プレーと同様に、人間としても立派に育って欲しいと願っています。その基本は「ありがとう」です。

「ありがとう」をいつも忘れずに、日常の努力を続けて下さい。

**みなさんが立派なサッカー選手に育ち、どこかでお会いできる日を楽しみに待っています。
頑張れ、すべてのサッカー小僧！**

マカオサッカー代表チーム監督 影山 雅永

